

令和3年度おんしんの事業概況

事業の概況

当金庫の令和3年度の業績は以下のとおりであります。

貸出金は、組織改編による営業推進体制の強化と営業支援システム「BankNeo」に蓄積したデータを活用し「おんしん営業メソッド」の徹底を図った結果、平均残高は1.56%増加となりました。しかしながら長期化する低金利の影響により、利回りが1.77%と0.06ポイント低下したことで貸出金利息は2,316百万円と49百万円の減少となりました。

預積金では、引き続きコロナ禍の影響等により、投資需要や消費需要の低迷に伴う預入が続いており平均残高は5.51%増加しました。しかしながら預金利回りが低下したことで預積金利息は5百万円ほど減少しております。

資金運用におきましては、安定的な分配金・配当金による収益を目的として高利回りの有価証券を中心に資金の運用を行っておりますが、投資信託の売却を控えたことで、有価証券利息配当金に見なされる投資信託売却益が前期比449百万円減少し、有価証券と預け金を合わせた利息配当収入は432百万円減少しました。売買などに伴う利益(ネット)は25百万円増加いたしました。

役務取引等収益(受入手数料)は17百万円減少し、役務取引等費用(支払手数料)も13百万円減少いたしました。

経費は、人件費が8百万円ほど増加しましたが、物件費は3百万円ほど減少しております。また、貸倒引当金は120百万円の繰入となりました。

以上の結果、経常利益では1,155百万円(前期比339百万円増加)、税引前当期純利益も1,151百万円(前期比338百万円増加)となり、法人税などを勘案した(税引後)当期純利益は737百万円(前期比140百万円増加)となりました。

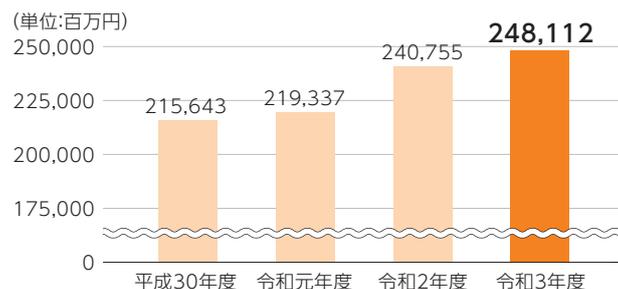


預金・積金の推移状況

令和4年3月末の預金積金残高は248,112百万円で、地域の皆さまからの預金により資金を調達しています。一般個人、事業法人のほか、地方公共団体からの預金もお預りしています。おんしんは、水巻町、遠賀町の指定金融機関も務めています。

P17「預金業務」およびP29「貸借対照表」をご覧ください。

■ 預金積金残高の推移

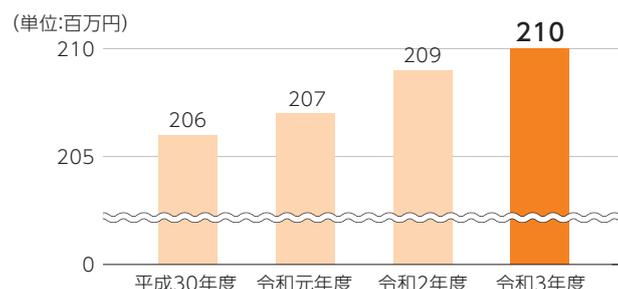


出資金の推移状況

個人会員14,600名、法人会員3,482社で出資総額は210百万円ですが、これに過去からの営業努力による積立金などが加わり、会員勘定は22,628百万円という厚さです。また現下の収益環境を鑑みて令和4年3月期は年6%の配当とさせていただきます。

P7「会員」P29「貸借対照表」をご覧ください。

■ 出資金の推移





ミルトン

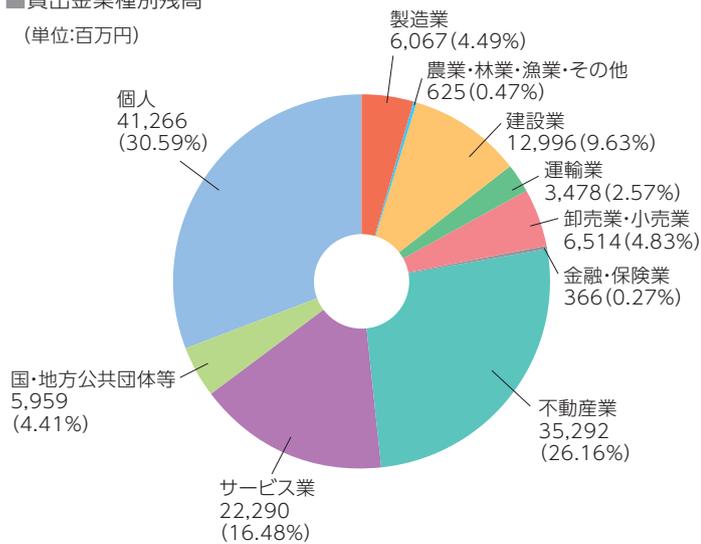
■ 融資推移状況

令和4年3月末の融資残高は134,863百万円となりました。「地元経済に対する貢献度の目安」といわれる預貸率は54.35%となっており、地域の皆さまへ安定した資金を供給しています。また、信金中央金庫などによる代理貸付の残高である債務保証は、1,229百万円となっています。

👉 P17「貸出金業務」P36.38「貸出金等資料」、「預貸率」をご覧ください。

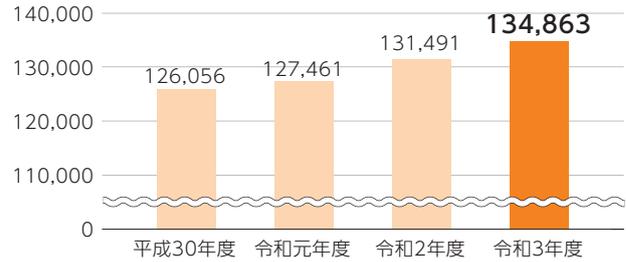
■ 貸出金業種別残高

(単位:百万円)



■ 貸出金の推移

(単位:百万円)



topics

おんしんネット支店をオープン

令和3年10月に、信用金庫業界では北部九州で初めてとなりますインターネット支店、「おんしんネット支店」をオープンしました。ネット支店特有の「便利さ」に加えて、地域密着の「信用金庫らしさ」が特徴で、ご要望に応じて、おんしんの全職員が対面(face to face)でもサポートいたします。人とのつながりを大切に、顔の見えるネット支店として、多くのお客さまに親しんでいただいております。

ネット支店はここから

<https://www.shinkin.co.jp/onga/net/>



おんしん ネット支店

